

疾患名

抗白血球細胞質抗体（ANCA）型急速進行性糸球体腎炎

病気について

白血球の細胞に存在する酵素に対する抗体（ANCA）が、白血球からこれらの酵素などを放出し、全身の小さいサイズの血管の壁で炎症を起こす（血管炎）病気です。血管炎が起きると炎症による痛みや出血、臓器への血流障害が起こります。症状は、発熱、倦怠感、食欲低下、体重減少などの特徴的ではない症状の他、障害される臓器によってさまざまです（皮膚粘膜：皮膚の紫斑、潰瘍、口の中の潰瘍。眼：眼球の充血。鼻：鼻の中の潰瘍。耳：難聴・肺：肺炎、肺出血など。消化管：腹痛・神経：手足の脱力や感覚の異常など）。特に腎臓の小さいサイズの血管の塊である糸球体に激しい炎症が起きると、週～月単位で急速に腎機能が悪化します。腎障害が重症になると回復せずに維持透析になります。また肺出血は命にも関わる事もあります。

治療について

副腎皮質ステロイド薬、免疫抑制薬、抗体除去のための血漿交換療法を行います。血漿交換療法は腎障害が重症の場合に行われます。

アフェシス療法の適用とその実施

保険適用：あり

アフェシス治療の種類：血漿交換、二重濾過血漿分離交換

回数：1クール（2週間に限る）につき7回、一連につき2クールを限度として行います。